

困窮の農業、将来をみた抜本改革を

神奈川県議会議員 国松誠

藤沢市に散在する田やは拡大しています。

畑が、危機に瀕している。このまま放っておけば、本来、豊かな実りやことをご存知でしょう。景観をもたらしてくれない将来、雑草だらけの荒れた土地がひろがって、

か。相続で土地の所有権が細分化されたり、生活を支える収益力が弱く、

土地の規制も強いため、農業の継続が難しくなっているからで、この現象

実際、県の環境農政局

は1キログラム当たりわずか223円。経費を除

にコメを作った時の農家の収入を聞いて、愕然と

しました。神奈川県の一反(約300坪)当たりの平均収穫量は540キログラム

で、JAの引き取り価格は

は1キログラム当たりわずか223円。経費を除

いた農業収入は300坪

で5万8752円です。法律改正を含めた抜本的

仮に年収400万円を稼ごうとするとおよそ66倍

の2万坪以上の面積が必要になり、今度は莫大な

経費がかかります。農地の細分化で集約もままなりません。

遠藤に農家レストラン

「いぶき」があります。ここは、農業振興地域

では農地を別の形で使うのはどうでしょう。こ

れも農業振興地域では法律上、農業以外の活用は

できず、指定を外すことも難しい状況です。

結果、農業もできず、別の活用もできず、耕作放棄が進み、荒地となっ

ていくこととなります。このような状況を打開

するためには、国や県に法律改正を含めた抜本的な制度改革が求められま

す。そして行政、大学を

含めた研究機関、企業が

一体となって農家を支え

る仕組みを作る必要があります。

通常であれば規制で

建築物が建てられない

中、内閣府による特区を

活用し、規制緩和による

農業経営の新たな姿とし

て注目されています。

このような規制緩和に

よる好例がある藤沢だか

らこそ、将来を見据えた

改革の声をあげていきたく

と思います。



神奈川県議会議員

国松 誠 (かながわ自民党)

■ 経歴

1961年生まれ
神奈川県立藤沢西高卒
明治大学法学部卒
衆議院議員 藤井裕久秘書
藤沢市議会議員
藤沢市議会議長、全国市議会議長会会長

■ 現在

神奈川県議会議員4期目
藤沢病院、御所見病院評議員
わかたけ、遠藤、六会保育園理事
光友会理事
喜寿福祉会評議員
社会福祉法人縁樹理事
社会福祉法人三つ葉会理事
藤沢市ソフトボール協会副会長
藤沢市ラグビー協会顧問
藤沢リトルリーグ顧問
藤沢市ダンススポーツ連盟顧問

☎0466-31-3555

✉ kunimatsu-makoto@outlook.jp

🌐 http://www.m-kuni.com/